

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月31日(10:30~12:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	5人	0人	10人

前回の改善計画

- ・担当職員を中心に利用者カードを更新し、職員間で情報共有をはかり利用者対応に活かす。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・利用者カードの作成は出来たが、更新が出来なかった。
- ・利用者様の様子については、通い時、訪問時等で細かく記録に残した。ミーティング等で確認し、情報の共有をはかり、対応に繋げることが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	6	0	1	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	6	1	1	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	6	3	0	1	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	2	2	2	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・新規利用者様の受け入れまでに、事前の情報をミーティングや申し送りノートで読んで不明な点はCMに確認するなどして職員間で情報共有している。
- ・初めての通い時には、一人で横になれる、(退院間もない為休める部屋を用意)落ち着ける環境を用意して不安のないよう配慮した。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・運転出来ないため送迎時に、家族と会っていないからという理由で、介護者の不安を受け止めることが出来ないと感じる職員もいる。
- ・業務優先の意識で働いている事で利用者様に関わっていないと感じている職員もいる。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・今回、職員の担当の見直しも含め、新規利用者様を中心に、利用者カードを作成・更新し利用者対応に活かす。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月31日(10:30～12:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	4人	0人	10人

前回の改善計画

- ・職員が(利用者様の「～したい」を叶えるためにも)限られた時間の中で対応の優先順位や業務効率を考え業務改善に取り組む。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・時間帯によっては、職員が手薄な時間があり、利用者対応の優先順位や業務効率について考えて動くよう努めた。(職員の捉え方の違いもあり、うまくいかない時もあった)

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	1	7	1	1	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	6	2	1	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	6	4	0	10
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	5	2	1	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用者様が「歩きたい」「足が弱らないようにしたい」という願いに対してリハビリ担当を作る事で利用者は歩く事で達成感を感じることが出来ていた。
- ・利用者様の発言や様子を継続的に観察し、記録を残す事で職員間で共有しようと努力してきた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・利用者様の状態や対応について、職員間で話す時間を確保するのが難しい時期もあった。
- ・利用者様の目標について、職員全員での意識としては、関わりきれなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・利用者様が、望んでいる「～したい」についてミーティングや担当者会議を通して職員間で再度話し合い、実際の関わりの場面で実践する。
- ・利用者様の対応について優先順位や業務効率も考え、業務改善についても、継続して取り組む。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 10月31日 (10:30~12:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	5人	2人	0人	10人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>勤務形態に違いがあっても全職員が情報共有し、利用者様のそれぞれの介護度に応じた関りや環境の提供に取り組む。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>勤務形態の違いがあるが、申し送りの仕方や伝達の方法を工夫し伝え共有する事は出来ていた。</li> <li>泊りと自宅での環境を同じように提供する事については、連泊者が増え自宅へ帰る方が少なくなり、難しかった。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	4	4	2	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	5	0	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3	4	2	1	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	4	0	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	6	3	0	1	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>その日の利用者様の状態をインカムや口頭伝達で職員間で共有し、対応へ繋げることが出来た。</li> <li>利用者様の状態変化(特に体調不良時)は家族や主治医と速やかに連絡、相談し受診などの対応に繋げることが出来た。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>勤務形態等により、訪問が出来ない、夜勤のみ業務で記録は確認しているが、自分の対応していない事について共有不足ではないかと感じている職員もいる。</li> <li>利用者様の状態像は、理解していても自身の時間や気持ちに余裕がなく手伝わってしまっている。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>職員や利用者様の入れ替わりもあった為、改めて登録利用者様の食事、排泄、入浴等見直しを行い職員間で利用者情報を共有する。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 10月31日 (10:30~12:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	1人	4人	10人

前回の改善計画	<p>・特定の地域(住んでいる場所、近隣住民との関係)にこだわらない利用者・家族も複数いるため視点を変え、あったかの場所を提供し地域資源となる取り組みを考える。 →近隣住民、ぽっかぽか、利用者様、家族が集う事が出来るキッチンカーや移動スーパーへ場所を提供しそれを新しい資源として活用する。(コロナ禍により、外へ出る機会が減少していることを踏まえ、事業所内環境の向上を目指す)</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・前年度よりも事業所の利用者様からは感染者を出していないが、(職員自身や職員の家族、利用者様の家族の感染はあり)感染状況の悪化もあり、実施出来ていない。 ・ウッドデッキの活用は出来ており、季節の壁面制作は常態化出来ている。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	5	3	1	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	6	2	0	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	6	2	1	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	2	4	3	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・利用者様の以前の関りから美容室や整形外科など関係性の継続は出来ている。 ・(感染対策は継続であったが)あったか広場の特色でもある世代交流を目的としてあったか夏祭りを開催出来た。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・特に新規利用者の自宅での生活の状態把握が不足し、対応時に転倒のリスクが高まってしまった事があった。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>・サービス評価を開始して以来、常に職員が利用者様の生活している地域の民生委員や地域資源を把握出来ていない事が継続しているため、あらためて登録利用者様の地域の民生委員や資源について確認する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 10月31日 (10:30~12:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	4人	5人	10人

前回の改善計画  
・ミーティングなどで利用者様や来所者が事業所にとって地域資源とは何か?職員間で意見交換する機会を増やす。

前回の改善計画に対する取組み結果  
・今まで行かなかった職員が訪問に出る事などにより、自宅での利用者様の地域資源が何かを考える機会を持つ事は出来たが、意見交換までに至らなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	7	2	1	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	6	0	0	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	8	0	0	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	6	0	0	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
・利用者様の状態に合わせて「通い」「泊り」「訪問」のサービス提供出来ている。  
・隣接するNPO法人ぽっかぽか＝地域資源を活用して多世代の交流を日常におこなっている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
・言葉で伝える事が難しい利用者様の対応について、その方に合わせて柔軟に支援出来ているかという点不足しているのではないかと考えてしまう職員もいる。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
(取り組みなかったので再度継続)  
・ミーティングなどで利用者様や来所者が事業所にとって、地域資源とは何か?職員間で意見交換する機会を増やす。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月31日(10:30~12:00)

6. 連携・協働

メンバー 10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	8人	1人	0人	10人

前回の改善計画

- ・コロナ禍による影響を考慮しつつ前年度取り組めなかった行事参加や事業所のイベントについても企画、実施する。
- ・地域での会議、行事に参加したCMや管理者が情報を伝達し共有を図ることで、連携や協働についても職員が考える機会を持つようにする。(参加が難しい職員への周知)

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・コロナ禍の影響はあったが、ウッドデッキや壁面制作や七夕飾りを通してぽっかぽかさんと窓越しでの関わりは継続出来ている。感染対策を取りながら、あったか夏祭りは実施出来た。
- ・地域の福祉フェスタに職員が参加する事で地域住民に事業所の事、介護の事等相談出来る場所があるというきっかけ作りの提供が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0	6	1	3	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	2	4	4	10
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	6	2	2	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	4	4	1	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
・交流行事が出来ない時も、ウッドデッキの壁面制作や七夕飾りを通じてぽっかぽかとの関りは継続出来ている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
・地域の会議に(管理者として)参加しているが、内容について職員と共有するという点では不足している。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・(今回のように)地域への行事や会議へ参加した職員や管理者が内容や状況を職員に報告する事で、実際参加出来ない職員が関心を持てるように伝達していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月31日 (10:30~12:00)

7. 運営

メンバー 10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5人	5人	0人	0人	10人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・(今回もコロナウィルスの感染対策は継続) 利用者様が季節を感じ、小規模内であっても楽しんで頂けるように行事を企画、実施する。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・月毎に担当職員が中心となり、壁面制作や、外出行事等企画し実施出来た。</li><li>・運営推進会議についても、前年度は書面開催だったが今期は実際に来所して頂き開催出来た。(利用者様の様子を実際に見てもらえる機会が持てた。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	0	7	2	1	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	7	1	1	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	6	2	2	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	4	4	2	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・久しぶりに運営推進会議の開催が出来、(避難訓練にも参加)利用者様の様子を見て頂く機会が持てた。</li><li>・ぽっかぽかとの関りやぽっかぽか通信への寄稿は継続出来ている。</li></ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・感染対策(事業所に持ち込まない)を優先とした時期が長かった為、地域との接触(普段会わない人)を控えており、地域との協働には至らなかった。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>・運営推進会議を通して地域のニーズを確認し合いながら、協力体制が整うように事業所として取り組む。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月31日(10:30~12:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	8人	1人	0人	10人

前回の改善計画

ヒヤリハット報告書を活用して、事業所と自宅と両方で利用者様が安全に過ごせるように配慮する。  
・管理者として砥部町地域福祉計画策定委員会に出席し、職員へ地域福祉の現状や取組みについて伝え、関心を高めてもらう。

前回の改善計画に対する取組み結果

・ヒヤリハット報告書を活用し、室内環境の改善には取り組めた。連泊者が増えた事で自宅での環境の改善までには至らなかった。(職員間での自宅でのリスクに意識のずれがあった)  
・管理者が地域福祉策定委員会には参加したが、職員へ関心を高めてもらう所までは至らなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	6	1	0	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	2	4	2	10
③	地域連絡会に参加していますか	1	2	2	5	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	6	1	1	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
・研修がzoomで日中の時間帯であり、今まで参加出来なかった職員も参加出来た。伝達もミーティング内で実施出来た。  
・リスクマネジメントの視点でヒヤリハットについて報告書を活用し、室内(連泊利用者)環境を整える事が出来た。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
・ヒヤリハットの出現率が高い利用者様が連泊者の為、自宅での環境の配慮までは至らなかった。  
・自宅で生活する新規利用者様の環境について、職員によってはリスクの捉え方に差が出てしまった。(危険な箇所として捉えられていない)

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

・職員の介護職員としての質を高めるため、引き続き職場内、外に問わず研修参加の機会を設ける。  
・ヒヤリハット報告書の活用については、利用者様の生活の安全に配慮出来るよう継続する。



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年10月31日 ( 10:30~12:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0	7	3	0	10

前回の改善計画  
・職員同士が日々利用者様の対応の場面で、言葉遣いやプライバシーへの配慮について不適切なケアになっていないか、確認し合いながら取り組む。

前回の改善計画に対する取組み結果  
・利用者様への対応の場面で、不適切なケアになっていないか確認し実際の対応について検討し改善するため研修を実施した。  
・利用者様の情報に対しての職員間で取り扱いについて差があったため改善に取り組んでいる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	2	0	0	10
②	虐待は行われていない	6	3	1	0	10
③	プライバシーが守られている	6	4	0	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	8	2	0	0	10
⑤	適正な個人情報の管理ができています	5	4	1	0	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
・トイレ・入浴にお誘いの際、利用者様に対して配慮しながら声掛けする事が出来た。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
・利用者様の情報が記入してあるバイタル板が意識しないとそのまま見える状態になっている。(裏返ししてない)  
・職員ひとりひとりの利用者様への対応について感覚や意識の違いがあり、声掛けや介助に差が出てしまった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
・今回、職員同士の確認や発言等について改善途中であるため、継続したい。  
→職員同士が日々、利用者様の対応の場面で、言葉遣いやプライバシーへの配慮について不適切なケアになっていないか、確認し合いながら取り組む。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人砥部寿会	代表者	菅原哲雄	法人・事業所の特徴	「利用者一人ひとりの思い、家族の希望に寄り添います」「人と人とがつながり、共に支えあい、共に笑い合える暮らしの輪を広げます」「住み慣れた地域でのその人らしい暮らしを支えます」「利用者の暮らしを支える全ての人々の思いを大切にします」をモットーに、ご家族や関係機関と連携して、自宅で生活する利用者様の24時間365日を捉えた個別ケアの提供を目指している。
事業所名	小規模多機能ホーム あったか	管理者	岡本 将宗		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	1人	人	2人	人	1人	3人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・ヒヤリハット報告書を活用して、事業所と自宅と両方で利用者様が安全に過ごせるよう環境や対応に配慮する。	・ヒヤリハット報告書を活用し、室内環境の改善には取り組めた。連泊者が増えた事で自宅での環境の改善までには至らなかった。(職員間での自宅でのリスクに意識のずれがあった) ・職員が地域福祉策定委員会に参加しているが、他職員に関心を高めてもらう所までには至らなかった。	・取組んだ結果を元に次回の具体的な改善計画が記載されている。(地域) ・出来ていない取組みに対しても取り組もうとした努力は、この事業所評価を見て感じとれた。(地域) ・職員の自己評価が以前に比べると低めになっている気がする。職員の経験が浅く、入職間もないためにそのように感じているのか？(地域)	・職員が事業所の改善計画を把握出来るように事業計画に組み込み職員会で話し合うことで、共有し達成できるようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	・勤務形態に違いがあっても、全職員が情報を共有し、利用者様のそれぞれの介護度に応じた関りや環境の提供に取り組む	・勤務形態に違いがあるが、申し送りの仕方や伝達の方法を工夫し伝え共有する事は出来ていた。 ・泊りと自宅での環境を同じように提供する事については、連泊者が増え自宅へ帰る方が少なくなり、難しかった。	・勤務形態等により、訪問出来ない、夜勤業務のみで記録の確認はしているが、自分の対応していない事について共有不足ではないかと感じている職員もいる。(職員)	・本人の状態にあった私用物品の調整(福祉用具を含めた)や利用している部屋のしつらえ等の環境調整に取り組む。
C. 事業所と地域のかかわり	・コロナ禍による影響を考慮しつつ、前年度取組みになった行事参加や事業所のイベントについても企画、実施する。 ・地域での会議、行事に参加したCMや管理者が情報を伝達し共有を図ることで連携や協働についても職員が考える機会を持つようにする。(参加が難しい職員への周知)	・コロナ禍の影響はあったが、ウッドデッキや壁面制作・七夕飾りを通してほっかぼかさんと密着した関りが継続出来ている。感染対策を取りながら、あったか夏祭りは実施出来た。 ・地域の福祉フェスタに職員が参加する事で地域住民に事業所の事、介護の事当相談出来る場所があるというきっかけ作りの提供が出来た。	・久しぶりに、あったか夏祭りが開催出来、あったか広場のコンセプトである多世代交流を職員として実感出来た。(コロナ禍での行事開催が出来ず、開設時のコンセプトを実感する機会が持ていなかった)(職員)	・コロナ禍前のほっかぼか広場との行事を見直し、地域との関りを話し合い、事業計画に取り込む。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・特定の地域(住んでいる場所、近隣住民との関係)にこだわらない利用者・家族も複数いるため視点を変え、あったかの場所を提供し資源となる取組みを考える。 →近隣住民、ほっかぼか、利用者、家族が集うことが出来るキッチンカーや移動スーパーへ場所を提供しそれを新しい資源として活用する。(コロナ禍により、外へ出る機会が減少していることを踏まえ、事業所内環境の向上を目指す)	・ウッドデッキの活用は出来ており、季節の壁面制作は常態化出来ている。 ・前年度よりも事業所の利用者様からは感染者は出ていないが、(職員自身や家族、利用者様家族の感染はあり)感染状況の悪化もあり実施出来ていない。	・職員が毎月担当し壁面制作の継続出来ている。その事で利用者様やほっかぼかを訪れる方に季節を感じて楽しんで頂けた。	・地域座談会に参加し交流をすることで地域ニーズを把握して運営に取り入れる。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・書面開催も含め、地域の方や運営推進会議の参加者にもあったか広場(小規模)の取組みを広める情報発信を継続する。 ※コロナウィルスの状況を考え、再度継続とする。	・久々の運営推進会議の開催が出来、(避難訓練にも参加)利用者様の様子を見て頂く機会が持てた。 ・ほっかぼかとの関りやほっかぼか通信への寄稿は継続出来ている。	・前年度と今年度と書面開催中心となっていたが、久々の対面開催で外部評価して頂き意見交換出来、直接の声を頂けて良かった。(事業所職員)	・運営推進会議のメンバーの見直し、会議での意見を職員会でも取り上げて改善に努める。
F. 事業所の防災・災害対策	・事業所の災害計画(コロナウィルスについてBCP計画)を職員間で共有し災害発生時(感染症の際も)に備える。	・あったか広場において他部署の感染、職員や利用者家族等のコロナ感染もあったため、BCP計画を確認する機会があった。 →職員との共有という面では、不足していた。	・災害時の対応者が不足している際には、民生委員として協力体制をとっているのので連絡頂きたい。(地域住民)	・BCPを含めた災害計画を職員間で共有し災害発生に備える。また災害訓練に民生委員等の地域住民に協力者として参加してもらう。

